

# 第1弾 ソフトボール

北京オリンピックでの、あの感動を再び！

江口未来子選手



ポジション：外野手 背番号：3

【プロフィール】

2009年に東海学園高校からデンソー女子ソフトボール部へ入部。2019年に豊田自動織機女子ソフトボール部へ移籍し、レギュラーとして活躍。

2017年から日本TOP代表に選出され、リードオフマンとして期待されている。リーグ1・2を争う俊足で、相手をかき乱す走塁と広い守備範囲に注目。

【本人コメント】

オリンピックでソフトボールが競技として3大会ぶりに復活する場所が日本なので、より一層、責任感とプレッシャーがかかると思いますが、日本で開催されることの喜びを感じながら楽しみたいと思います。

まずはメンバーに選出されることを目標にし、メンバーに選出されれば、金メダル、それだけを狙います。

2020年東京オリンピックで金メダルを取り、子どもたちにも夢や希望を与えられるように頑張ります。

洲鎌夏子選手



ポジション：内野手 背番号：10

【プロフィール】

2012年にIPU環太平洋大学から豊田自動織機女子ソフトボール部へ入部。2015年から日本TOP代表に選出され、チームの中心選手としても活躍。さらに今シーズンはキャプテンとして、若返ったチームをプレーで引っ張る。

攻守にわたって、ここぞというときの勝負強いバッティングと鋭い反応での堅守に注目。

【本人コメント】

北京オリンピック以降、2大会連続でオリンピック競技から除外されましたが、2020年東京オリンピックでソフトボールが復活し、とてもうれしく思います。北京オリンピックでの、金メダルを取った瞬間は多くの人が感動したと思います。その感動を再び味わってもらえるよう、金メダルを狙うのではなく、絶対に取りにいきます。まずはメンバーに残り、選出されたら、しっかり自分の役割を果たし、一つでも多くプレーで結果を出して金メダルに貢献できるように頑張ります。

応援よろしくお祈りします。



連載特集

# 開催まであと1年 東京オリンピック



2020年7月24日に開幕の東京オリンピックまで、あと1年。刈谷にも、オリンピック出場に向け日々練習に励んでいる選手がいます。さまざまな競技の中から、注目の選手たちを連載特集で紹介します。

第1弾で取り上げる競技は、北京オリンピック以来、3大会ぶりに採用され注目が集まっているソフトボール。刈谷市ホームタウンパートナーとして活躍しているソフトボールチーム「豊田自動織機シャイニングベガ」の注目選手を紹介します。そして初回は特別に、オリンピック出場経験を持つ刈谷市出身の元プロ野球選手・赤星憲広さんにオリンピックについての思いを伺いました。

オリンピック出場を懸け練習に励んでいる刈谷市の選手を、みんなで応援しましょう！

シドニーオリンピック出場 元プロ野球選手 赤星憲広さん

オリンピック出場経験者として

オリンピックは全てのアスリートにとっての憧れの舞台。社会人野球時代、自分自身もオリンピックを目標にしていたので、今回競技種目として採用されたと知ったときはとてもうれしかったです。

ただ、これは野球・ソフトボールが盛んな日本での開催だからにすぎず、次のパリオリンピックでは採用されていません。オリンピックで採用されないことは、その競技の人気の低迷にもつながってしまいます。だからこそ今回の東京での開催はとても重要であり、それだけ、結果を残し競技を盛り上げなければいけないという選手のプレッシャーも大きいと思います。そんな中で、選手たちが自分の能力を発揮するには、皆さんの応援は必要不可欠です。

北京オリンピックでのソフトボール優勝のシーンを覚えている人も多いのではないのでしょうか。オリンピックを見て、「その競技をやりたい！」と思う子どもも多いはず。今回のオリンピックを見て、多くの人にスポーツの魅力が伝わってほしいですね。

刈谷市の未来のアスリートたちへメッセージ

自分自身、子どもの頃に水泳やサッカーなど、いろいろなスポーツを経験しました。最終的に野球を選びましたが、それぞれの競技で得たものは、野球にも生かされています。だから、子どもたちには、野球だけをやってほしいというよりは、いろいろなスポーツを経験してほしいと思います。その経験は最後に選んだ競技にどこかで生かされるはず。もちろん、あらゆるスポーツを経験した上で、「野球が一番楽しい！」と思ってもらえたら、それはとてもうれしいですが、自分の選んだスポーツで、世界で活躍する選手が出てきてくれたらと思います。

